

寺やバラ 市民の絵画149点

福山美術協が公募展



油彩や水彩の絵画が並ぶ福山美術協会の公募展

福山美術協会（福山市）が市民の絵画を募った第54回公募展が23日、同市西町のふくやま美術館で始まった。27日までで、入場無料。

備後地域の市民と高校生、同協会会員の描いた油彩や水彩の149点を展示。福山城やバラなど郷里の景色を切り取った風景画やカラフルな抽象画など、生き生きとした表現の作品が並んだ。

同協会は会員10人による投票で、149点から27点を優秀賞などに選んだ。最優秀の協会賞は広江郁子さん（同市三吉町）の「佛通寺」と川崎松生さん（同市新涯町）の「メメント・モリ」が受賞した。同協会の高地秀明理事長（68）は「美術に触れ、興味を持つ機会にしてほしい」と来場を呼びかけている。

午前9時半～午後5時で、27日は同4時50分まで。27日を除く毎日同2時から審査員が受賞作品を解説する。同館☎084(932)2345。（松本輝）